

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第5865052号  
(P5865052)

(45) 発行日 平成28年2月17日 (2016. 2. 17)

(24) 登録日 平成28年1月8日 (2016. 1. 8)

(51) Int. Cl.

F 1

G 0 9 G 5/377 (2006. 01)  
 G 0 9 G 5/00 (2006. 01)  
 G 0 9 G 5/36 (2006. 01)  
 H 0 4 N 7/18 (2006. 01)

G 0 9 G 5/36 5 2 O M  
 G 0 9 G 5/00 5 5 5 D  
 G 0 9 G 5/36 5 1 O C  
 G 0 9 G 5/00 5 1 O X  
 G 0 9 G 5/00 5 3 O M

請求項の数 4 (全 14 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2011-275087 (P2011-275087)  
 (22) 出願日 平成23年12月15日 (2011. 12. 15)  
 (65) 公開番号 特開2013-125218 (P2013-125218A)  
 (43) 公開日 平成25年6月24日 (2013. 6. 24)  
 審査請求日 平成26年11月14日 (2014. 11. 14)

(73) 特許権者 000001007  
 キヤノン株式会社  
 東京都大田区下丸子3丁目30番2号  
 (74) 代理人 100076428  
 弁理士 大塚 康德  
 (74) 代理人 100112508  
 弁理士 高柳 司郎  
 (74) 代理人 100115071  
 弁理士 大塚 康弘  
 (74) 代理人 100116894  
 弁理士 木村 秀二  
 (74) 代理人 100130409  
 弁理士 下山 治  
 (74) 代理人 100134175  
 弁理士 永川 行光

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 画像表示装置、画像表示装置の制御方法、およびプログラム

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

カメラから取得した画像を表示する画像表示装置であって、  
前記カメラのパン・チルト・ズーム制御を行うユーザ指示を受け付けて、前記カメラの可動範囲内の撮影位置を操作する操作手段と、

前記撮影位置における前記カメラの現在の撮影画像を表示する画像表示手段と、  
前記カメラにより撮影された複数の撮影画像から生成された広域画像を表示する広域画像表示手段と、

前記画像表示手段により表示されている現在の撮影画像に対するマスクの追加指示を受け付ける受付手段と、

前記追加指示に応じて、前記画像表示手段により表示されている現在の撮影画像に対するマスクの追加位置及びサイズに対応する位置及びサイズで、前記広域画像表示手段により表示されている広域画像にマスクを合成するマスク合成手段と、

を備えることを特徴とする画像表示装置。

【請求項 2】

前記マスク合成手段によりマスクが合成された広域画像を前記カメラへ送信する送信手段をさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載の画像表示装置。

【請求項 3】

操作手段と、画像表示手段と、広域画像表示手段と、受付手段と、マスク合成手段とを  
 備え、カメラから取得した画像を表示する画像表示装置の制御方法であって、

前記操作手段が、前記カメラのパン・チルト・ズーム制御を行うユーザ指示を受け付けて、前記カメラの可動範囲内の撮影位置を操作する操作工程と、

前記画像表示手段が、前記撮影位置における前記カメラの現在の撮影画像を表示する画像表示工程と、

前記広域画像表示手段が、前記カメラにより撮影された複数の撮影画像から生成された広域画像を表示する広域画像表示工程と、

前記受付手段が、前記画像表示手段により表示されている現在の撮影画像に対するマスクの追加指示を受け付ける受付工程と、

前記マスク合成手段が、前記追加指示に応じて、前記画像表示手段により表示されている現在の撮影画像に対するマスクの追加位置及びサイズに対応する位置及びサイズで、前記広域画像表示手段により表示されている広域画像にマスクを合成するマスク合成工程と、

10

を有することを特徴とする画像表示装置の制御方法。

【請求項 4】

請求項 1 又は 2 に記載の画像表示装置の各手段としてコンピュータを機能させるためのプログラム。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、画像表示装置、画像表示装置の制御方法、およびプログラムに関する。

20

【背景技術】

【0002】

雲台付きカメラを公衆エリアに設置して撮影を行う場合、個人の住宅等が撮影可能範囲にあるとプライバシー侵害の問題が生じる。そこで、プライバシー保護のために雲台の可動範囲を制限する技術や、特許文献 1 に記載のように、プライバシーエリアにマスクデータを合成する技術が知られている。

【0003】

一方、カメラが現在撮影している場所をユーザに直感的に理解させるために、特許文献 2 に記載のように、雲台の可動範囲に渡って撮影を行ってパノラマ画像を生成し、生成されたパノラマ画像に現在の撮影範囲を重畳する技術が知られている。

30

【先行技術文献】

【特許文献】

【0004】

【特許文献 1】特開 2001 - 69494 号公報

【特許文献 2】特開平 8 - 223466 号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

しかしながら、マスクデータを設定するためにパノラマ画像を表示する場合、全てのプライバシーエリアに適切にマスクデータが設定されたか否かを容易に判断できないという課題がある。

40

【0006】

上記の課題に鑑み、本発明は、プライバシーマスクを設定する際に、撮影可能範囲の見せたくない全てのプライバシーエリアに適切にマスクデータが設定されたことを容易に確認できるようにすることを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0007】

上記の目的を達成する本発明に係る画像表示装置は、

カメラから取得した画像を表示する画像表示装置であって、

前記カメラのパン・チルト・ズーム制御を行うユーザ指示を受け付けて、前記カメラの

50

可動範囲内の撮影位置を操作する操作手段と、

前記撮影位置における前記カメラの現在の撮影画像を表示する画像表示手段と、

前記カメラにより撮影された複数の撮影画像から生成された広域画像を表示する広域画像表示手段と、

前記画像表示手段により表示されている現在の撮影画像に対するマスクの追加指示を受け付ける受付手段と、

前記追加指示に応じて、前記画像表示手段により表示されている現在の撮影画像に対するマスクの追加位置及びサイズに対応する位置及びサイズで、前記広域画像表示手段により表示されている広域画像にマスクを合成するマスク合成手段と、

を備えることを特徴とする。

10

【発明の効果】

【0008】

本発明によれば、プライバシーマスクを設定する際に、撮影可能範囲の見せたくない全てのプライバシーエリアに適切にマスクデータが設定されたことを容易に確認できる。

【図面の簡単な説明】

【0009】

【図1】第1実施形態に係るカメラ制御システムのブロック図。

【図2】第1実施形態に係るパノラマ撮影処理の手順を示すフローチャート。

【図3】第1実施形態に係るプライバシーマスク設定時のパノラマ画像生成処理の手順を示すフローチャート。

20

【図4】第1実施形態に係るプライバシーマスク設定クライアントの画面表示例を示す図。

【図5】第2実施形態に係るカメラ制御システムのブロック図。

【図6】第2実施形態に係るパノラマ撮影処理の手順を示すフローチャート。

【図7】第2実施形態に係るプライバシーマスク設定時のパノラマ画像生成処理の手順を示すフローチャート。

【図8】第2実施形態に係るカメラ制御システムのブロック図。

【図9】第3実施形態に係るパノラマ撮影処理の手順を示すフローチャート。

【図10】第3実施形態に係るプライバシーマスク設定時のパノラマ画像生成処理の手順を示すフローチャート。

30

【発明を実施するための形態】

【0010】

(第1実施形態)

図1を参照して、第1実施形態に係るカメラ制御システムを説明する。カメラ制御システムは、カメラサーバ1と、パノラマ撮影クライアント2と、プライバシーマスク設定クライアント3とを備え、それぞれがネットワーク4を介して接続されている。ネットワーク4に接続される構成要素の数に制限はないが、説明の簡略化のため各々1台ずつであると仮定する。ネットワーク4に関しても、後で述べるカメラ制御信号、圧縮した画像信号を伝達するのに十分な帯域があるインターネットやイントラネット等のデジタルネットワークであればどのようなものでもよい。なお、ここではネットワークプロトコルとしてTCP/IP(UDP/IP)プロトコルを仮定し、以下アドレスといった場合にはIPアドレスを指すこととする。また、カメラサーバ1、パノラマ撮影クライアント2、プライバシーマスク設定クライアント3にはそれぞれIPアドレスが割り当てられているものとする。

40

【0011】

カメラサーバ1は、撮影部11と、雲台12と、撮影・雲台制御部13と、通信制御部14と、プライバシーマスク合成部15と、画像圧縮部16と、コマンド解釈部17と、記憶部18を備える。カメラサーバ1は、通信制御部14がクライアントから受信したコマンドに応じて、ネットワーク4を介して画像データを配信するとともに、各種カメラ制御を実行する。

50

## 【 0 0 1 2 】

撮影部 1 1 は撮影を行い、撮影画像を、プライバシーマスク合成部 1 5、パノラマ撮影クライアント 2 またはプライバシーマスク設定クライアント 3 へ出力する。雲台 1 2 は、撮影部 1 1 と、三脚などの架台本体との間に設けられ、撮影部 1 1 を自由な方向に向けて固定するための台である。撮影・雲台制御部 1 3 は、コマンド解釈部 1 7 により解釈されたコマンドで指定された制御内容に応じて、撮影部 1 1 が取り付けられた雲台 1 2 のパン・チルト角度を制御する。また、撮影・雲台制御部 1 3 は、画像中のプライバシーエリア座標と、プライバシーエリアの大きさをマスクデータとしてプライバシーマスク合成部 1 5 へ指示する。通信制御部 1 4 は、各クライアントから受信したコマンドに応じて、ネットワーク 4 を介して画像データを配信するとともに、各種カメラ制御を実行する。プライバシーマスク合成部 1 5 は、撮影部 1 1 から取得した画像と、撮影・雲台制御部 1 3 から取得したマスクデータとを合成する。画像圧縮部 1 6 は、プライバシーマスク合成部 1 5 により合成されたマスクデータ付き画像を、クライアントに配信しやすいデータサイズに圧縮する。本実施形態では、画像圧縮部 1 6 は J E P G 形式を用いて圧縮を行うが、他の圧縮形式を用いてもよい。コマンド解釈部 1 7 は、通信制御部 1 4 が受信したコマンドを解釈する。記憶部 1 8 は、プライバシーマスクの設定値やパノラマ撮影クライアント 2 によって生成されるパノラマ画像などを記憶する。

10

## 【 0 0 1 3 】

パノラマ撮影クライアント 2 は、通信制御部 2 1 と、コマンド生成部 2 2 と、パノラマ座標演算部 2 3 と、操作入力部 2 4 と、表示制御部 2 5 と、画像表示部 2 6 と、画像圧縮伸張部 2 7 と、パノラマ画像合成部 2 8 とを備える。パノラマ撮影クライアント 2 は、カメラサーバごとに割り当てられている I P アドレスを指定してカメラサーバ 1 へ接続する。

20

## 【 0 0 1 4 】

通信制御部 2 1 は、カメラサーバ 1 から送信されてきた撮影画像および記憶部 1 8 に記憶されていたパノラマ画像を受信するとともに、各種カメラ制御の結果を受信する。コマンド生成部 2 2 は、パノラマ画像上でのマウスクリックや、雲台 1 2 のパン・チルト位置を表す枠のドラッグといった G U I 操作に応じて、各種カメラ制御コマンドを生成する。生成された各種カメラ制御コマンドは、通信制御部 2 1 からカメラサーバ 1 へ送信される。パノラマ座標演算部 2 3 は、パノラマ撮影用の画像を撮影するためのパン・チルト角度の算出を行う。操作入力部 2 4 はマウスやキーボードによるユーザからの G U I 操作を受け付ける。表示制御部 2 5 は、画像圧縮伸張部 2 7 により伸張された撮影画像およびパノラマ画像や、各種カメラ制御の結果からグラフィカル・ユーザ・インタフェース ( G U I ) を生成し、画像表示部 2 6 を制御する。画像表示部 2 6 は、表示制御部 2 5 による制御に応じて各種動作結果を表示する。すなわち、画像表示部 2 6 は、カメラサーバ 1 による現在の撮影画像を取得してリアルタイムで表示する動作や、カメラサーバ 1 により撮影された複数の撮影画像から生成された広域画像 ( 例えば、パノラマ画像 ) を取得して表示する動作などを行う。

30

## 【 0 0 1 5 】

画像圧縮伸張部 2 7 は、カメラサーバ 1 から受信した画像を伸張し、また、パノラマ画像合成部 2 8 により合成されたパノラマ画像を、カメラサーバ 1 へ配信しやすいデータサイズに圧縮する。圧縮されたパノラマ画像データは、通信制御部 2 1 へ出力され、ネットワーク 4 を介してカメラサーバ 1 の記憶部 1 8 に記憶される。パノラマ画像合成部 2 8 は、カメラサーバ 1 から受信して画像圧縮伸張部 2 7 により伸張されたパノラマ撮影用の画像をつなぎ合わせる。

40

## 【 0 0 1 6 】

プライバシーマスク設定クライアント 3 は、通信制御部 3 1 と、コマンド生成部 3 2 と、パノラマ座標演算部 3 3 と、操作入力部 3 4 と、表示制御部 3 5 と、画像表示部 3 6 と、画像圧縮伸張部 3 7 と、プライバシーマスク合成部 3 8 とを備える。プライバシーマスク設定クライアント 3 は、パノラマ撮影クライアント 2 と同様に、カメラサーバ毎に割り

50

当てられているＩＰアドレスを指定してカメラサーバ１へ接続する。ここで、通信制御部３１、コマンド生成部３２、操作入力部３４、表示制御部３５、画像表示部３６、および画像圧縮伸張部３７は、それぞれパノラマ撮影クライアント２が備える通信制御部２１、コマンド生成部２２、操作入力部２４、表示制御部２５、画像表示部２６、および画像圧縮伸張部２７と同様の機能を有する。

【００１７】

パノラマ座標演算部３３は、パノラマ画像上のプライバシーエリアの座標とプライバシーエリアの大きさを算出して、プライバシーマスク合成部３８へ座標と大きさを指示する。プライバシーマスク合成部３８は、カメラサーバ１の記憶部１８から受信して画像表示部３６に別に表示されている画像圧縮伸張部３７により伸張されたパノラマ画像と、画像表示部３６に表示されているカメラサーバ１の現在の撮影画像との対応する位置に、それぞれマスクデータを合成する。

10

【００１８】

図２のフローチャートを参照して、第１実施形態に係るパノラマ撮影クライアント２のパノラマ撮影処理の手順を説明する。本フローチャートの処理は、ユーザがパノラマ撮影クライアント２の操作入力部２４からパノラマ撮影を要求することにより開始する。

【００１９】

ステップＳ１０１において、パノラマ座標演算部２３は、パノラマ画像生成に必要な撮影画像のパン・チルト角度を算出する。そしてコマンド生成部２２は、パノラマ座標演算部２３により生成されたパン・チルト角度をカメラ制御コマンドとして生成する。カメラ制御コマンドは、通信制御部２１によりカメラサーバ１へ送信される。このカメラ制御コマンドによってカメラサーバ１の撮影部１１の動作が制御される。

20

【００２０】

ステップＳ１０２において、コマンド生成部２２は、カメラサーバ１のプライバシーマスク合成を無効にするコマンドを生成する。このコマンドは、通信制御部２１によりカメラサーバ１へ送信される。このコマンドによってカメラサーバ１のプライバシーマスク合成部１５の動作が制御される。その後、パノラマ撮影クライアント２は、カメラサーバ１の撮影部１１により撮影されたマスクデータ無し画像をカメラサーバ１から受信する。

【００２１】

ステップＳ１０３において、コマンド生成部２２は、カメラサーバ１のプライバシーマスク合成を有効にするコマンドを生成する。このコマンドは、通信制御部２１によりカメラサーバ１へ送信される。このコマンドによってカメラサーバ１のプライバシーマスク合成部１５の動作が制御される。その後、パノラマ撮影クライアント２は、カメラサーバ１の撮影部１１により撮影されたマスクデータ有り画像をカメラサーバ１から受信する。

30

【００２２】

ステップＳ１０４において、パノラマ画像合成部２８は、パノラマ画像生成に必要な全ての画像が揃ったか否かを判定する。全ての画像が揃ったと判定された場合（Ｓ１０４；ＹＥＳ）、ステップＳ１０５へ進む。一方、全ての画像が揃っていないと判定された場合（Ｓ１０４；ＮＯ）、ステップＳ１０１へ戻る。

【００２３】

ステップＳ１０５において、パノラマ画像合成部２８は、プライバシーマスク無効の受信画像と撮影時のパン・チルト角度とを用いてパノラマ画像を合成する。ステップＳ１０６において、パノラマ画像合成部２８は、同様にプライバシーマスク有効の受信画像と撮影時のパン・チルト角度とを用いてパノラマ画像を合成する。ステップＳ１０７において、表示制御部２５は、プライバシーマスク有効のパノラマ画像を画像表示部２６に表示する。

40

【００２４】

ステップＳ１０８において、画像圧縮伸張部２７は、プライバシーマスク無効のパノラマ画像とプライバシーマスク有効のパノラマ画像とをそれぞれ圧縮して、ネットワーク４を介してカメラサーバ１の記憶部１８に記憶する。プライバシーマスク無効のパノラマ画

50

像サイズあるいは圧縮方式、圧縮率は、プライバシーマスク有効のパノラマ画像サイズあるいは圧縮方式、圧縮率と同じである必要はなく、異なる圧縮方式、圧縮率であってもよい。本実施形態では、プライバシーマスク無効の画像サイズあるいは圧縮方式、圧縮率がプライバシーマスク有効の画像サイズあるいは圧縮方式、圧縮率より、大きい、品質が良い、低いように圧縮する。以上で図2のフローチャートの各処理が終了する。

【0025】

図3のフローチャートを参照して、第1実施形態に係るプライバシーマスク設定クライアント3のパノラマ画像生成処理の手順を説明する。本フローチャートの処理は、ユーザがプライバシーマスク設定クライアント3の操作入力部34からパノラマ画像生成を要求することにより開始する。

【0026】

ステップS201において、プライバシーマスク設定クライアント3は、カメラサーバ1の記憶部18からプライバシーマスクの設定値を受信する。ステップS202において、プライバシーマスク設定クライアント3は、カメラサーバ1の記憶部18からプライバシーマスク無効なパノラマ画像を受信する。

【0027】

ステップS203において、プライバシーマスク合成部38は、プライバシーマスク無効なパノラマ画像と、プライバシーマスクの設定値とを用いて、パノラマ座標演算部33により算出された座標と大きさで、マスクデータ有りパノラマ画像を合成する。ステップS204において、表示制御部35は、プライバシーマスクが合成されたパノラマ画像を画像表示部36に表示する。

【0028】

ステップS205において、パノラマ座標演算部33は、操作入力部34からプライバシーエリア（マスクデータ）の設定変更を受付けたか否かを判定する。設定変更が受け付けられたと判定された場合（S205；YES）、ステップS203に戻り、プライバシーマスク無しパノラマ画像と、設定変更されたマスクデータとを合成する。一方、設定変更が要求されていないと判定された場合（S205；NO）、ステップS206へ進む。これは、ユーザがプライバシーエリア設定の完了を要求することによって判定される処理である。

【0029】

ステップS206において、画像圧縮伸張部37は、プライバシーマスクを合成したパノラマ画像を圧縮して、ネットワーク4を介してカメラサーバ1の記憶部18に記憶する。

【0030】

ステップS207において、画像圧縮伸張部37は、同様にプライバシーマスクの設定値を、ネットワーク4を介してカメラサーバ1の記憶部18に記憶する。以上で図3のフローチャートの各処理が終了する。

【0031】

図4を参照して、第1実施形態に係るプライバシーマスク設定クライアント3の画面表示例について説明する。プライバシーマスク設定クライアント3の画像表示部36は、カメラサーバ1の撮影部11により撮影された画像を取得してリアルタイムで表示する撮影画像表示部101と、プライバシーマスク合成部38によりマスクデータが合成されたパノラマ画像を表示する広域画像表示部102とを有する。さらに、つまみのドラッグによって雲台12のパン・チルト制御を指示するパンスクロールバー104およびチルトスクロールバー105と、つまみのドラッグで撮影部11のデジタルズーム制御を指示するズームスライダー106とを有する。

【0032】

ユーザは視野を表す枠の移動や拡大縮小によってパン・チルト・ズーム制御を指示するパノラマプレビュー枠103により可動範囲内の撮影位置が簡便に操作できる。撮影画像表示部101においてユーザがプライバシーマスク110を追加するプライバシーマスク

10

20

30

40

50

追加ボタン 107 を押下すると、撮影画像表示部 101 のマスク追加位置およびサイズに対応する位置およびサイズで広域画像表示部 102 においてマスクが追加される。カメラサーバ 1 にプライバシーマスクを記憶させるプライバシーマスク保存ボタン 108 を押下すると、設定済みのプライバシーマスク 111 と共にプライバシーマスクの設定値が記憶部 18 に記憶される。プライバシーマスク削除ボタン 109 を押下すると記憶部 18 のプライバシーマスク設定値と共に広域画像表示部 102 上のマスクデータが消去される。

#### 【0033】

このように、カメラサーバの現在の撮影画像を取得してリアルタイムで表示し、さらにカメラサーバにより撮影された複数の撮影画像から生成されたパノラマ画像を取得して表示し、取得したマスクデータに基づいて、それぞれの対応する位置にマスクを合成する。

10

#### 【0034】

本実施形態によれば、撮影可能範囲でプライバシーエリアがマスクされていることをマスクデータつきパノラマ画像ですぐに確認できる。また、エリア設定を変更してもパノラマ画像の再撮影が不要なカメラ制御システムを提供することができる。

#### 【0035】

##### (第2実施形態)

図5を参照して、第2実施形態に係るカメラ制御システムを説明する。カメラ制御システムは、カメラサーバ1と、パノラマ撮影クライアント2と、プライバシーマスク設定クライアント3aとを備え、それぞれがネットワーク4を介して接続されている。ネットワーク4に接続される構成要素の数に制限はないが、説明の簡略化のため各々1台ずつであると仮定する。カメラサーバ1、パノラマ撮影クライアント2、およびネットワーク4は第1実施形態と同様の構成である。

20

#### 【0036】

プライバシーマスク設定クライアント3aは、パノラマ撮影クライアント2と同様にカメラサーバごとに割り当てられているIPアドレスを指定してカメラサーバ1に接続する。プライバシーマスク設定クライアント3aが有するパノラマ座標演算部33aおよびプライバシーマスク合成部38aの機能が第1実施形態と異なる。また、パノラマ画像合成部39をさらに備える点異なる。その他の構成要素の機能は第1実施形態で説明した対応する処理部の各機能と同様であるため、説明を省略する。パノラマ座標演算部33aは、パノラマ画像を生成するためのパン・チルト角度の演算と、パノラマ画像上のプライバシーエリアの座標と大きさの算出とを行う。プライバシーマスク合成部38aは、パノラマ座標演算部33aにより算出されたプライバシーエリアの座標と大きさに合わせて、パノラマ画像とマスクデータとを合成する。パノラマ画像合成部39は、カメラサーバ1から受信して画像圧縮伸張部37により伸張されたパノラマ生成用の画像と、プライバシーマスク合成部38によりマスクデータが合成された画像とを、パノラマ座標演算部33aにより算出された角度に合わせてつなぎ合わせる。また、パノラマ画像合成部39は、パノラマ画像生成に使用した画像を、ネットワーク4を介してカメラサーバ1の記憶部18に記憶する。

30

#### 【0037】

図6のフローチャートを参照して、第2実施形態に係るパノラマ撮影クライアント2のパノラマ撮影処理の手順を説明する。本フローチャートの処理は、ユーザがパノラマ撮影クライアント2の操作入力部24からパノラマ撮影を要求することにより開始する。

40

#### 【0038】

ステップS301乃至ステップS304の各処理は、ステップS101乃至ステップS104の各処理と同様である。

#### 【0039】

ステップS305において、パノラマ画像合成部28は、プライバシーマスク有効の受信画像と、撮影時のパン・チルト角度とを用いてパノラマ画像を合成する。ステップS306において、表示制御部25は、プライバシーマスク有効のパノラマ画像を画像表示部26に表示する。

50

## 【 0 0 4 0 】

ステップ S 3 0 7 において、画像圧縮伸張部 2 7 は、プライバシーマスク無効のパノラマ画像とプライバシーマスク有効のパノラマ画像とをそれぞれ圧縮して、ネットワーク 4 を介してカメラサーバ 1 の記憶部 1 8 に記憶する。プライバシーマスク無効のパノラマ画像サイズあるいは圧縮方式、圧縮率は、プライバシーマスク有効のパノラマ画像サイズあるいは圧縮方式、圧縮率と同じである必要はなく、異なる圧縮方式、圧縮率であってもよい。本実施形態では、プライバシーマスク無効の画像サイズあるいは圧縮方式、圧縮率がプライバシーマスク有効の画像サイズあるいは圧縮方式、圧縮率より、大きい、品質が良い、低いように圧縮する。以上で図 6 のフローチャートの各処理が終了する。

## 【 0 0 4 1 】

10

図 7 のフローチャートを参照して、第 2 実施形態に係るプライバシーマスク設定クライアント 3 a のパノラマ画像生成処理の手順を説明する。本フローチャートの処理は、ユーザがプライバシーマスク設定クライアント 3 a の操作入力部 3 4 からパノラマ画像生成を要求することにより開始する。

## 【 0 0 4 2 】

ステップ S 4 0 1 において、プライバシーマスク設定クライアント 3 a は、プライバシーマスクの設定値を受信する。ステップ S 4 0 2 において、プライバシーマスク設定クライアント 3 a は、カメラサーバ 1 の記憶部 1 8 のプライバシーマスク無効な画像を受信する。

## 【 0 0 4 3 】

20

ステップ S 4 0 3 において、プライバシーマスク設定クライアント 3 a は、プライバシーマスク有効な画像を受信する。ステップ S 4 0 4 において、パノラマ画像合成部 3 9 は、プライバシーマスク有効な画像と、パノラマ座標演算部 3 3 により計算される撮影時のパン・チルト角度とを用いて、パノラマ画像を合成する。ステップ S 4 0 5 において、表示制御部 3 5 は、プライバシーマスクが合成されたパノラマ画像を画像表示部 3 6 に表示する。

## 【 0 0 4 4 】

ステップ S 4 0 6 において、パノラマ座標演算部 3 3 a は、操作入力部 3 4 からプライバシーエリア（マスクデータ）の設定変更を要求したか否かを判定する。設定変更が要求された場合（S 4 0 6 ; Y E S）、ステップ S 4 0 7 へ進む。一方、設定変更が要求されていないと判定された場合（S 4 0 6 ; N O）、ステップ S 4 0 9 へ進む。これは、ユーザがプライバシーエリア設定の完了を要求することによって判定される処理である。

30

## 【 0 0 4 5 】

ステップ S 4 0 7 において、パノラマ座標演算部 3 3 a は、プライバシーエリアの設定変更を行う。具体的には、ステップ S 4 0 2 で取得したプライバシーマスク無効な画像のパノラマ座標上で該当する変更前と変更後の画像を選択する。

## 【 0 0 4 6 】

ステップ S 4 0 8 において、プライバシーマスク合成部 3 8 a は、変更前の画像についてはそのまま、変更後の画像については変更されたプライバシーマスクの設定値を用いてパノラマ座標演算部 3 3 a により算出された座標と大きさのマスクデータを合成する。その後ステップ S 4 0 4 へ戻り、パノラマ画像合成部 3 9 は、プライバシーマスク有効な画像と、ステップ S 4 0 7 で選択された画像とをパノラマ合成して、再びステップ S 4 0 5 において、表示制御部 3 5 は、プライバシーマスクが合成されたパノラマ画像を画像表示部 3 6 に表示する。

40

## 【 0 0 4 7 】

ステップ S 4 0 9 において、通信制御部 3 1 は、プライバシーマスクが合成されたパノラマ画像を構成する画像をプライバシー有効な画像として、ネットワーク 4 を介してカメラサーバ 1 の記憶部 1 8 に記憶する。ステップ S 4 1 0 において、通信制御部 3 1 は、同様にプライバシーマスクの設定値を記憶部 1 8 に記憶する。以上で図 7 のフローチャート

50



の各処理が終了する。

【 0 0 4 8 】

本実施形態によれば、撮影可能範囲でプライバシーエリアがマスクされていることをマスクデータつきパノラマ画像ですぐに確認できる。また、エリア設定を変更してもパノラマ画像の再撮影が不要なカメラ制御システムを提供することができる。

【 0 0 4 9 】

( 第 3 実施形態 )

図 8 を参照して、第 3 実施形態に係るカメラ制御システムを説明する。カメラ制御システムは、カメラサーバ 1 と、パノラマ撮影クライアント 2 と、プライバシーマスク設定クライアント 3 b とを備え、それぞれがネットワーク 4 を介して接続されている。ネットワーク 4 に接続される構成要素の数に制限はないが、説明の簡略化のため各々 1 台ずつであると仮定する。カメラサーバ 1、パノラマ撮影クライアント 2、およびネットワーク 4 は第 1 実施形態と同様の構成である。

【 0 0 5 0 】

プライバシーマスク設定クライアント 3 b は、パノラマ撮影クライアント 2 と同様にカメラサーバごとに割り当てられている IP アドレスを指定してカメラサーバ 1 に接続する。プライバシーマスク設定クライアント 3 b は、第 2 実施形態で説明した、プライバシーマスク設定クライアント 3 a とは異なりプライバシーマスク合成部 3 8 a を有しておらず、また、パノラマ画像合成部 3 9 の機能が異なる。その他の構成要素の機能は第 1 実施形態で説明した対応する処理部の各機能と同様であるため、説明を省略する。

【 0 0 5 1 】

パノラマ画像合成部 3 9 は、カメラサーバ 1 から受信して画像圧縮伸張部 3 7 により伸張されたパノラマ撮影用の画像と、パノラマ座標演算部 3 3 a で撮影し直された画像とをパン・チルト角度に合わせてつなぎ合わせて、プライバシーマスクのあるパノラマ画像を合成する。また、通信制御部 3 1 は、合成されたパノラマ画像を画像圧縮伸張部 3 7 により圧縮して、ネットワーク 4 を介してカメラサーバ 1 の記憶部 1 8 に記憶する。

【 0 0 5 2 】

図 9 のフローチャートを参照して、第 3 実施形態に係るパノラマ撮影クライアント 2 のパノラマ撮影処理の手順を説明する。本フローチャートの処理は、ユーザがパノラマ撮影クライアント 2 の操作入力部 2 4 からパノラマ撮影を要求することにより開始する。

【 0 0 5 3 】

ステップ S 5 0 1 において、パノラマ座標演算部 2 3 は、パノラマ画像生成に必要な撮影画像のパン・チルト角度を算出する。そしてコマンド生成部 2 2 は、パノラマ座標演算部 2 3 により生成されたパン・チルト角度をカメラ制御コマンドとして生成する。カメラ制御コマンドは、通信制御部 2 1 によりカメラサーバ 1 へ送信される。このカメラ制御コマンドによってカメラサーバ 1 の撮影部 1 1 の動作が制御される。

【 0 0 5 4 】

ステップ S 5 0 2 において、コマンド生成部 2 2 は、カメラサーバ 1 のプライバシーマスク合成を有効にするコマンドを生成する。このコマンドは、通信制御部 2 1 によりカメラサーバ 1 へ送信される。このコマンドによってカメラサーバ 1 のプライバシーマスク合成部 1 5 の動作が制御される。その後、パノラマ撮影クライアント 2 は、カメラサーバ 1 の撮影部 1 1 により撮影されたマスクデータ有り画像をカメラサーバ 1 から受信する。

【 0 0 5 5 】

ステップ S 5 0 3 において、パノラマ画像合成部 2 8 は、パノラマ画像生成に必要な全ての画像が揃ったか否かを判定する。全ての画像が揃ったと判定された場合 ( S 5 0 3 ; Y E S )、ステップ S 5 0 4 へ進む。一方、全ての画像が揃っていないと判定された場合 ( S 5 0 3 ; N O )、ステップ S 5 0 1 へ戻る。

【 0 0 5 6 】

ステップ S 5 0 4 において、パノラマ画像合成部 2 8 は、プライバシーマスク有効の受信画像と撮影時のパン・チルト角度とを用いてパノラマ画像を合成する。

## 【 0 0 5 7 】

ステップ S 5 0 5 において、表示制御部 2 5 は、プライバシーマスク有効のパノラマ画像を画像表示部 2 6 に表示する。

## 【 0 0 5 8 】

ステップ S 5 0 6 において、通信制御部 2 1 は、プライバシーマスク有効のパノラマ画像を、ネットワーク 4 を介してカメラサーバ 1 の記憶部 1 8 に記憶する。なお、合成または記憶するパノラマ画像は、画像表示部 2 6 で表示するパノラマ画像よりサイズが大きいデータであってもよい。以上で図 9 のフローチャートの各処理が終了する。

## 【 0 0 5 9 】

図 1 0 のフローチャートを参照して、第 3 実施形態に係るプライバシーマスク設定クライアント 3 b のパノラマ画像生成処理の手順を説明する。本フローチャートの処理は、ユーザがプライバシーマスク設定クライアント 3 b の操作入力部 3 4 からパノラマ画像生成を要求することにより開始する。

10

## 【 0 0 6 0 】

ステップ S 6 0 1 において、プライバシーマスク設定クライアント 3 b は、カメラサーバ 1 の記憶部 1 8 からプライバシーマスクの設定値を受信する。ステップ S 6 0 2 において、プライバシーマスク設定クライアント 3 b は、カメラサーバ 1 の記憶部 1 8 からプライバシーマスク有効なパノラマ画像を受信する。ステップ S 6 0 3 において、表示制御部 3 5 は、プライバシーマスク有効なパノラマ画像を画像表示部 3 6 に表示する。

## 【 0 0 6 1 】

20

ステップ S 6 0 4 において、パノラマ座標演算部 3 3 は、操作入力部 3 4 からプライバシーエリア（マスクデータ）の設定変更を受け付けたか否かを判定する。設定変更が受け付けられたと判定された場合（S 6 0 4 ; Y E S）、ステップ S 6 0 6 へ進む。一方、設定変更が受け付けられていないと判定された場合（S 6 0 4 ; N O）、ステップ S 6 0 9 へ進む。これは、ユーザがプライバシーエリア設定の完了を要求することによって判定される処理である。

## 【 0 0 6 2 】

ステップ S 6 0 6 において、パノラマ座標演算部 3 3 a は、パノラマ座標上の該当する変更前と変更後のパン・チルト角度を算出する。続いて、コマンド生成部 2 2 は、ステップ S 6 0 6 で算出されたパン・チルト角度で撮影部 1 1 が撮影を行うようにコマンドを生成してカメラサーバ 1 へ送信する。このようにしてカメラ制御が行われる。

30

## 【 0 0 6 3 】

ステップ S 6 0 7 において、通信制御部 3 1 は、カメラサーバ 1 で撮影されたプライバシーマスクのある画像を受信する。ステップ S 6 0 8 において、パノラマ画像合成部 3 9 は、ステップ S 6 0 2 で受信したプライバシーマスク有効なパノラマ画像と、ステップ S 6 0 7 で受信したプライバシーマスクのある画像とを用いて、パノラマ画像を合成する。その後、ステップ S 6 0 3 へ戻り、表示制御部 3 5 は、再びプライバシーマスク有効なパノラマ画像を画像表示部 3 6 に表示する。

## 【 0 0 6 4 】

ステップ S 6 0 9 において、画像圧縮伸張部 3 7 は、プライバシーマスクを合成したパノラマ画像を圧縮して、ネットワーク 4 を介してカメラサーバ 1 の記憶部 1 8 に記憶する。

40

## 【 0 0 6 5 】

ステップ S 6 1 0 において、通信制御部 3 1 は、同様にプライバシーマスクの設定値を、ネットワーク 4 を介してカメラサーバ 1 の記憶部 1 8 に記憶する。なお、合成または記憶するパノラマ画像は、画像表示部 3 6 で表示するパノラマ画像よりサイズが大きいデータであってもよい。以上で図 1 0 のフローチャートの各処理が終了する。

## 【 0 0 6 6 】

本実施形態によれば、撮影可能範囲でプライバシーエリアがマスクされていることをマスクデータつきパノラマ画像ですぐに確認できる。また、エリア設定を変更してもパノラ

50

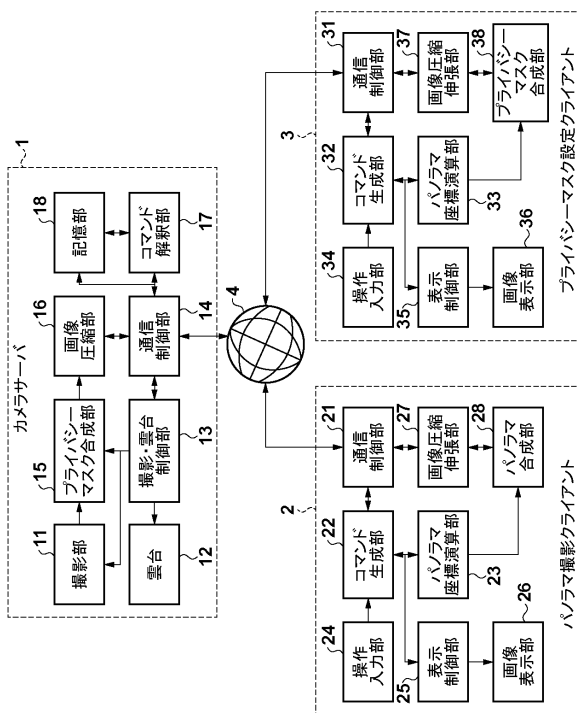
マ画像の再撮影が不要なカメラ制御システムを提供することができる。

【 0 0 6 7 】

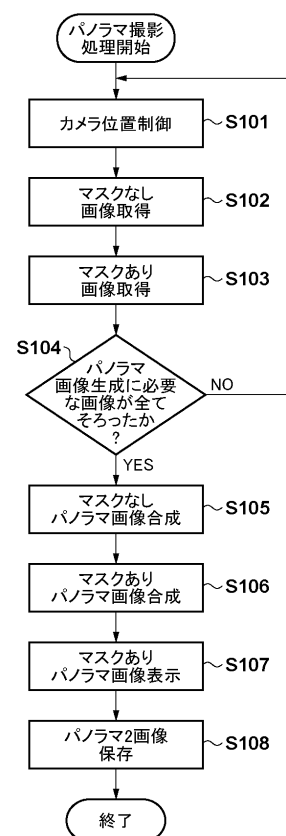
(その他の実施形態)

また、本発明は、以下の処理を実行することによっても実現される。即ち、上述した実施形態の機能を実現するソフトウェア（プログラム）を、ネットワーク又は各種記憶媒体を介してシステム或いは装置に供給し、そのシステム或いは装置のコンピュータ（またはＣＰＵやＭＰＵ等）がプログラムを読み出して実行する処理である。

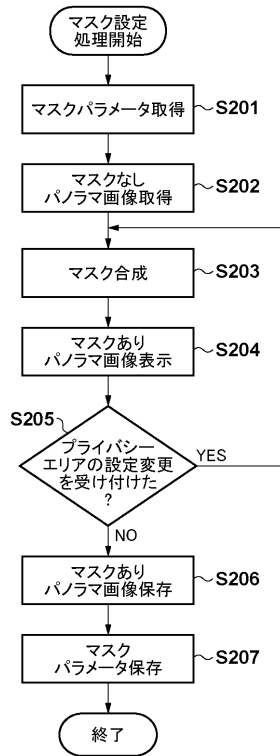
【圖 1】



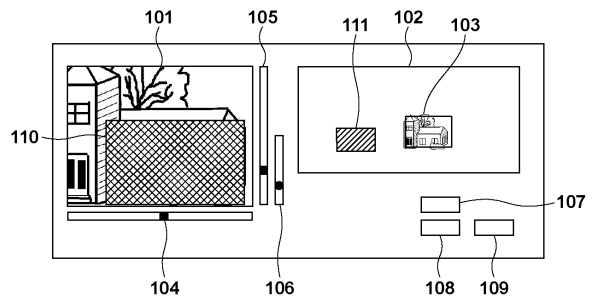
【圖 2】



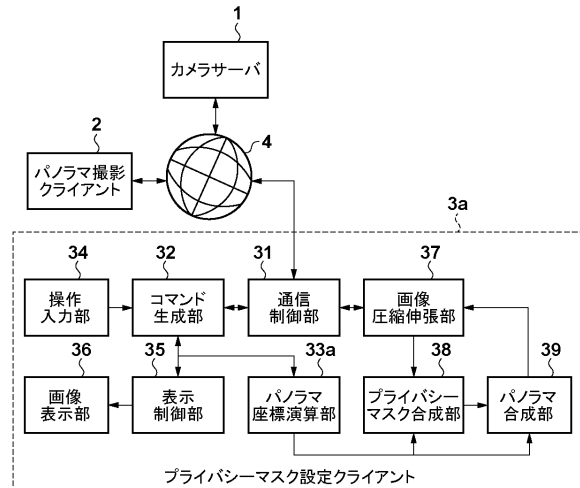
【 図 3 】



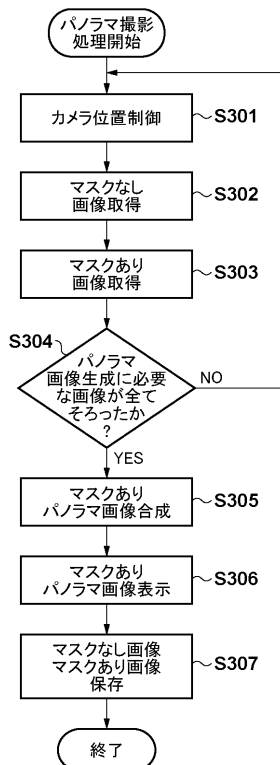
【 図 4 】



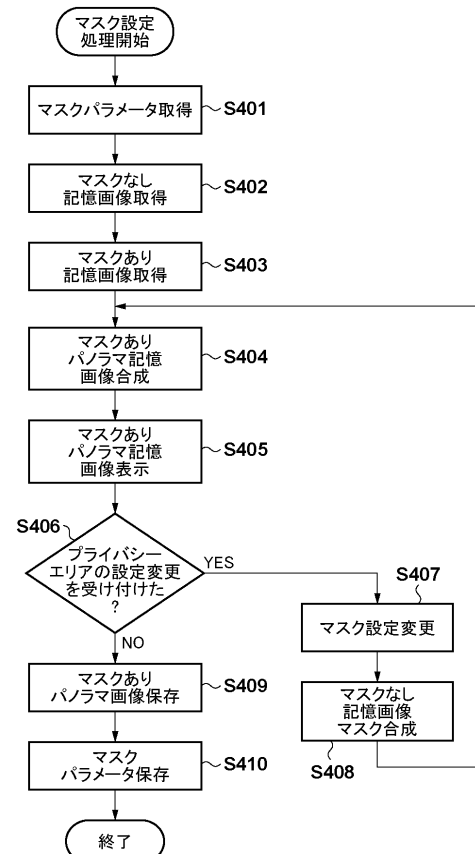
【 図 5 】



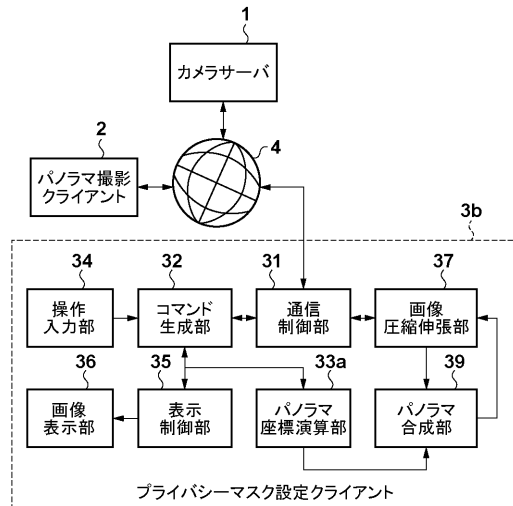
【 図 6 】



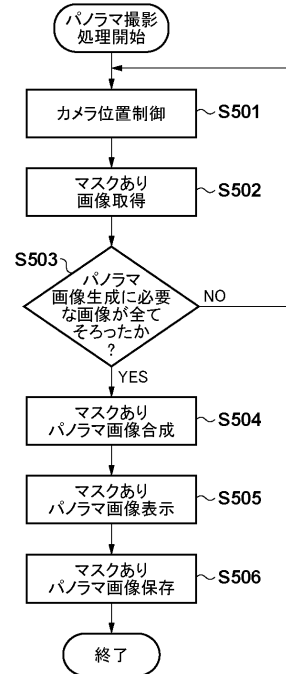
【圖 7】



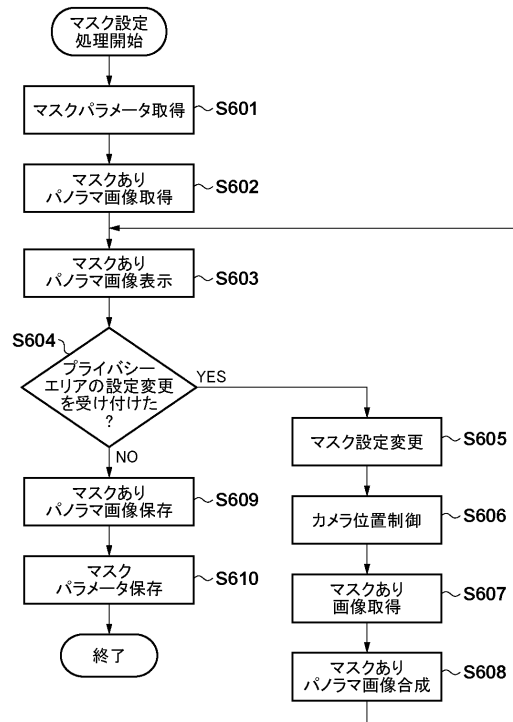
【図 8】



【図 9】



【図 10】



---

フロントページの続き

(51)Int.Cl. F I  
G 0 9 G 5/36 5 1 0 Z  
H 0 4 N 7/18 D

(72)発明者 永池 隆二  
東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社内  
(72)発明者 大西 元大  
東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社内

審査官 西島 篤宏

(56)参考文献 特開2001-136514(JP,A)  
特開2009-063727(JP,A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)  
G 0 9 G 5 / 0 0 - 5 / 4 2  
H 0 4 N 7 / 1 8